

感染症情報 7月15日～21日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

| | | |
|------------|--------|-----------|
| ①手足口病 | 1,591例 | (堺市 123例) |
| ②感染性胃腸炎 | 618例 | (堺市 47例) |
| ③溶連菌感染症 | 436例 | (堺市 65例) |
| ④ヘルパンギーナ | 292例 | (堺市 31例) |
| ⑤RSウイルス感染症 | 160例 | (堺市 16例) |

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 121例(堺市 15例)

報告数による順位。前週比16.8%減の3,290件であった。手足口病が府下で18%減、堺市で前週175例→今回123例であった。大阪府の定点あたりは9.85→8.08、堺市で9.21→6.47であった。今週も大阪府では1ブロックを除いて警報レベル開始基準値5を超えている。感染性胃腸炎が府下で前週比13%減、堺市で前週52例→今回47例。溶連菌感染症が府下で21%減、堺市で前週77例→今回65例。ヘルパンギーナが府下で10%減、堺市で30例→31例であった。RSウイルス感染症が府下で22%減、堺市で前週13例→今回16例であった。

基幹定点だけが報告するが、マイコプラズマ肺炎が11週連続で10例を超えている。大阪府35→41例、堺市11→8例であった。

インフルエンザが府下で前週149例→今回121例で前週比19%減であった。堺市で前週16例→今回15例であった。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 3,892例(堺市 428例)
大阪府定点 12.72 堺市定点 14.76

| 大阪府の年齢層別の報告数 | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|------|
| 0歳 | 1歳から4歳 | 5歳から9歳 | 10歳から19歳 | 20歳から29歳 | 30歳から39歳 | 40歳から49歳 | 50歳から59歳 | 60歳から69歳 | 70歳から79歳 | 80歳以上 | 合計 |
| 136 | 259 | 233 | 589 | 399 | 327 | 395 | 445 | 314 | 417 | 378 | 3892 |

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回2,943例→今回3,892例で32%増、定点あたり9.65→12.72。堺市で前週375例→今回428例は14%増、定点あたり12.93→14.76となり、大阪府のブロック別でワースト2であった。

麻疹や風疹の報告なし。